



京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM

E.FORUM Online (EFO)

利用マニュアル

(改訂版 2012 年 8 月 31 日)

(再改訂版 2019 年 2 月 22 日)

(再改訂版 2021 年 8 月 6 日)

開発者

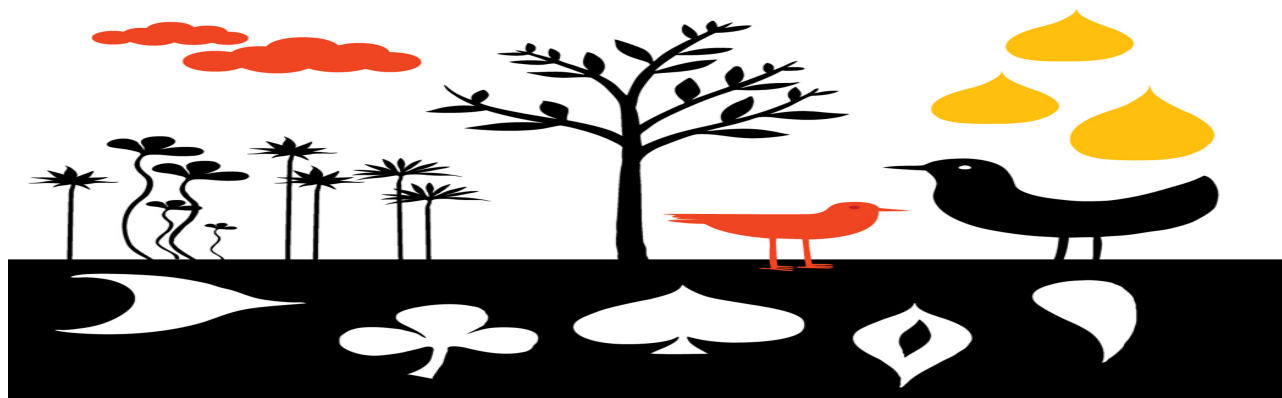
中池 竜一

(京都大学大学院教育学研究科 助教)

マニュアル作成

松井 保樹

(京都産業大学附属中学・高等学校 講師)



0. E. FORUM Online (EFO) を使い始める前に

(1) E.FORUM 会員制度について

E.FORUM では、研修に参加してくださった皆さまやその紹介者の方々の間で情報を交流し共有化していくシステムを構築するために、E.FORUM 会員制度を立ち上げました。「会則」や「入会手続き」については E.FORUM ホームページの該当ページ（下記）をご覧ください。

◎ホーム : <https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/>

◎会則 : <https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/entry/constitution/>

◎入会手続き : <https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/entry/>

E.FORUMは
広く教育に関心を持つ人々の「広場」です。

E.FORUMは、広く教育に関心を持っている人びとが集まり、ともに語り合うことを通して、お互いの教育力量を向上させることを目的とした「広場」です。
学ぶ喜びを感じ、賢明に判断し行動できる子どもたちの育成に役立ちたいと願っています。

E.FORUMとは？ 会則・入会申込 研究成果のご紹介 京都大学の教員養成 子どもたち応援サイト

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM

子どもたち応援サイト

E.FORUM Online(EFO)

E.FORUM EFOマニュアル

京都大学大学院 教育学研究科・教育学部

教育実践 コラボレーション・センター

全体のアクセス数:964062
今日のアクセス数:105
現在の訪問者数:4

事務局からのお知らせ

- オンラインコース「教育評価の実践講座」（2021年度E.FORUM「全国スクールリーダー育成研修」）のご案内を掲載しました（2021/7/1up）
- 連続研究会「学校教育におけるICT活用」第16回（「第39回知的コラボの会」合同企画）のご案内を掲載しました（2021/6/2up）
- 連続研究会「学校教育におけるICT活用」第15回のご案内を掲載しました（2021/5/14up）
- 2021年度E.FORUM「全国スクールリーダー育成研修」のご案内を掲載しました（2021/4/6up）
- 日本教育学会 近畿地区 講演会のご案内を掲載しました（2021/4/6up）

ご案内

■ 2021年度E.FORUM「全国スクールリーダー育成研修」のご案内（2021/4/6掲載、7/1更新）

「全国スクールリーダー育成研修」を下記の日程で開催いたします。
毎年恒例の夏の研修は、昨年度と同様、オンラインでの開催です。また昨年度配信したオンラインコースも今年度も引き続き配信いたします。

(2) E.FORUM Online(EFO)の登録と退会

E.FORUM Online (EFO) は、E.FORUM の会員限定サイトとなっております。ご活用いただくためには、あらかじめ E.FORUM にご入会していただく必要がございます。なお、ご入会いただきますと自動的に E.FORUM Online (EFO) にも登録されます。

E.FORUM はいつでも退会することができます。ただし、退会された場合、会員限定サイトに入力されたコンテンツについては、入力者ご本人から特段のお申し出がない限りは、引き続き保存されますのでご注意ください。

(3) EFOの主な機能

E.FORUM Online@京大教育

2021-07-01
ハナコ さん
ホーム
ログアウト

自分の登録データ
ユニット一覧
ファイル一覧
マトリクス一覧

他の会員の登録データ
公開ユニット検索
公開マトリクス検索

交流広場（掲示板）
新着へのお知らせ
経過の広場
経過の広場

検索履歴（過去）
ありません

Logged in successfully.

ユーザーホーム
ようこそ！ 一般ユーザー の ハナコ さん

ユーザー情報

- ログイン情報の「[編集](#)」
- ユーザー詳細情報の「[編集](#)」「[編集](#)」
- 公開用自己紹介ページの「[編集](#)」

新しいユニットの登録
以下の手順で、新規ユニットを登録・公開します。

1. 新規ユニットの登録・・・「[ユニット作成](#)」
単元名などを入力して、ユニットを作成します。
2. ユニットの詳細情報を入力
続けて「[ユニット編集](#)」により、ファイル（生徒作品やテンプレート等）をアップロードしたり、詳細情報を編集したりします。
3. 他のユーザーに公開
「[ユニット一覧](#)」で、「[公開](#)」に設定してください。特に設定していない場合は、原則非公開となっています。

「[逆向き設計](#)」テンプレートファイル

- ダウンロード：ワークシート（パフォーマンス課題づくり）、[単元設計テンプレート](#)（word）、[単元設計テンプレート](#)（word）、[単元設計テンプレート](#)（word）
- [（一太郎）](#)

自分の登録データ

- 「[ユニット一覧](#)」・・・ユニット（単元等）の閲覧
- 「[ファイル一覧](#)」・・・ファイル（各種画像・Word・Excelファイルなど）の閲覧
- 「[マトリクス一覧](#)」・・・マトリクス（ユニットやファイルなどを表形式で整理した表）の閲覧

他の会員の登録データ

- 「[公開ユニット検索](#)」・・・公開されているユニットを検索
- 「[公開マトリクス検索](#)」・・・公開されているマトリクスを検索

メール配信希望している掲示板・話題

- 掲示板「[新着へのお知らせ](#)」： 会員全員に配信

(C)京都市立大学教育研究科 E.FORUM

ユニットとは？

特定の単位に関わる情報など、
一まとまりのデータを一箇所に集
約できる場所です。生徒作品画
像も無制限に登録できます!!

交流広場とは？

会員の皆様が
自由に発言して
交流や議論を深
めることのできる
掲示板です!!
(下の画像参照)

マトリクスとは？

ユニットやアップロードした各種データ
などを自由なカテゴリーで一覧の表に
整理することのできるツールです!!

「逆向き設計」テンプレートとは？

- ・単元名
 - ・単元の目標（「本質的な問い」や
「永続的理解」を含む）
 - ・観点別評価の規準
 - ・パフォーマンス課題
 - ・ルーブリック
- を入力する書式です。
これを「ユニット」の一部として
アップロードできます!!

交流広場（掲示板） >> 「議論の広場」

研修内容に関する検討や意見交換、お勤めのイベントや本の情報提供、データペ
は、こちらにお寄せください。（より多くの方にメール配信が届くよう、新規の議
関連する話題がある場合はそちらに書き込み形で発言していただければ幸いです。

なお、【プロジェクトS】は、共同研究開発プロジェクトとして取り組んでいる、
（試案）」作りの取り組みを指しています。これまでのプロジェクトの経緯につ
トS】スタンダード作り」をご覧ください。

- ・ [新しい話題を提供](#)
- ・ この掲示板の内容についてメール配信：「[話題ごとに選択](#)」（変更）

話題タイトル	話題
「教育評価の基礎講座2020/2021」	西岡 豊

掲示板「議論の広場」 >> 「ユニットとマトリクスの違いについて」

「ユニットとマトリクスの違いについて」
2012年08月17日(金)14:17:11 - [百万憲](#)さんが話題提供

前作カリキュラム設計データベース(CDD)を長らくご活用くださった会員の皆様は、ユニットとマトリクスを以下のように誤解しておられるかも知れません。

《誤解》
・「ユニット」＝パフォーマンス課題の入力場所？
・「マトリクス」＝ルーブリックの入力場所？

確かに、マトリクスの入力方法は「横×縦」のマス目をベースにしますので、予備的なルーブリックの表にも見えます。しかしながら、パフォーマンス課題に対応するルーブリックは、ユーザーホームよりダウンロード可能な『[逆向き設計](#)』テンプレート（word文書、一太郎文書）内で入力していただく形となります。

《正しくは…》
・「ユニット」＝エレメントとして「[逆向き設計](#)」テンプレートをアップロードし、単元全体の詳細情報（課題と評価方法をまとめる場所。さらには、課題や評価方法に関連する生徒作品や模範作品などの画像データを、さらにエレメントとして追加するための場所。
・「マトリクス」＝公開されているユニットやマトリクスや各種データなどを自由なカテゴリーで表にまとめる場所（構造化する場所）。

となります。

[この話題に発言・返信](#)

[この掲示板の話題一覧に戻る](#)

Re: ユニットとマトリクスの違いについて
2012年08月17日(金)14:18:29 - [百万憲](#)さんが発言

百万憲さんへ

こんにちは。
つまり、ユニットを新規作成入力する前に、あらかじめ「[逆向き設計](#)」テンプレートをダウンロードし、こちらを完成させておくことが大事ですね。

そうすれば、おのずとユニットの構造が見えてくると思います。

[報告書に飛ぶ](#) | [この発言に返信](#) | [削除](#)

掲示板での議論の様子

(4) メールアドレスを用意する

E.FORUM Online (EFO) を利用するには、ログイン時の「ユーザー名」として、実際にお使いのメールアドレスを登録していただく必要があります。登録できるメールアドレスをお持ちでない方は、全国的に無料サービスで有名な（フリーで取得できる）メールアドレスを取得の上、E.FORUM にお申し込みください。

- * Gmail <https://www.google.com/intl/ja/gmail/about/>
- * Yahoo メール <https://mail.yahoo.co.jp/promo/>

（５）研究成果のご紹介

E.FORUM ホームページには、研究成果のご紹介のページがございますので是非ご参照ください。◎研究成果のご紹介 : <https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/seika/>

E.FORUMとは？

会費・入金お申込み

研究成果のご紹介

京大大学の教員情報

子どもたち応援サイト

研究成果のご紹介

- E.FORUMスタンダード
- パフォーマンス評価（市県別版）
- パフォーマンス評価（動画）
- 京大大学の教員による講演
- 教師の力量形成
- 教員研修用ワークシート
- コロナ禍におけるカリキュラム・マネジメント
- 学校教育におけるICT活用（会員登録済）
- 様々な事例の紹介（小・中学校）
- 様々な事例の紹介（高等学校）
- 高等学校における実況

パフォーマンス評価（市県別版）	パフォーマンス評価（動画）	E.FORUMスタンダード
京大大学の教員による講演	教師の力量形成	教員研修用ワークシート
コロナ禍におけるカリキュラム・マネジメント	学校教育におけるICT活用	学校教育におけるICT活用（会員登録済）
様々な事例の紹介（小・中学校）	様々な事例の紹介（高等学校）	高等学校における実況

E.FORUM Online (EFO)

EFOマニキュール

**京都大学大学院
教育学部研究科・教育学部**

**教育研究
コラボレーション・センター**

登録のアクセス数: 964084
 今日のアクセス数: 127
 現在の登録教員: 7

E.FORUMスタンダード

E.FORUMでは、2009年春より、プロジェクトから「スタンダード作り」に取り掛かってまいりました。スタンダードとは、社会的に共通理解された目標・到達基準です。プロジェクトでは、E.FORUMの会員がそれぞれの論文や論文・研究の動向などを提供し、各教科における代表的な「本質的（本質的）」と「系統的（体系的）」、パフォーマンス評価を整理しました。

ここにご紹介するのは、2013年度にまとめた「E.FORUMスタンダード（第1次案）」です。実践づくりにご活用いただけると思います。

なお、「E.FORUMスタンダード」については、今後改訂を重ね、より良いものにしていくことを予定しています。ご活用の際とあわせてお気づきの点など、是非、E.FORUM事務局までお問い合わせください。

構成：四次

0.はじめに [「E.FORUMスタンダード」とは何か](#)

※各教科の「スタンダード」をご利用の際には、「解説」を必ずご覧ください。

※「第1次案（第1版）」から「第1次案（第2版）」と差し替えました（2014/4/30）

	小学校	中学校	高等学校	参考資料
1. 国語	国語(国)	国語・小	国語・中	-
2. 社会	国語(社)	社会・小	社会・中	-
3. 算数・数学	国語(算)	算数・小	数学・中	-
4. 理科	国語(理)	理科・小	理科・中	-
5. 音楽	国語(音)	音楽・小	音楽・中	-
6. 美術	国語(美)	-	美術・中	-
7. 体育・保健体育	国語(体・保)	体育・小	保健・中	保健・高
8. 英語・技術・芸術	国語(英) 国語(技)	英語・小	英語・中	英語・高
9. 家庭	国語(家)	家庭・小	家庭・中	家庭・高
10. 参考資料	-	-	-	-

(6) パスワードをお忘れになった場合

E.FORUM Online (EFO) へのご登録後にログインに必要なパスワードを紛失された場合、EFO のログイン画面で「パスワードリセット」を実行して頂ければ、新しいパスワードが設定できます。

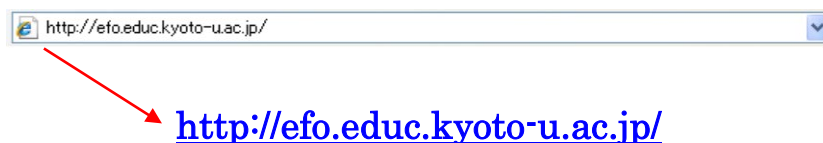
1. E. FORUM Online (EFO) にログインする



【手順1】

パソコンを起動しデスクトップ上のブラウザアイコンをクリックします。

OSが Windows であれば、Internet Explorer が標準装備されています。



【手順2】

アドレスバーに、左記のURLを直接入力してEnterキーを押します。すると、ログイン画面が表示されます。

【手順3】

ログインします。

①メールアドレスは事前にE.FORUMへ申請済みのものをご入力ください。

②初めてログインする方はE.FORUM事務局から事前交付された仮パスワードをご入力ください。

③**ログイン**ボタンをクリックします。

④パスワードをお忘れの場合は、**パスワードのリセット**から新しいパスワードを設定してください。

《重要な注意事項》

ログイン時にご入力いただくメールアドレス(E.FORUMに申請済みのもの)は、E.FORUM Online上の掲示板(交流広場)における「メール配信」の送信先アドレスでもあります。文字数や容量に制限のある携帯電話・PHSのメールアドレスはお控えくださいますよう、ご留意願います。

2. ユーザー情報を編集する

E.FORUM Online ユーザーホーム画面

E.FORUM Online@京大教育

2021-06-28
ハナコ さん
[ホーム](#)
[ログアウト](#)

自分の登録データ
[ユニット一覧](#)
[ファイル一覧](#)
[マトリクス一覧](#)

他の会員の登録データ
[公開ユニット検索](#)
[公開マトリクス検索](#)

交流広場(掲示板)
[皆様へのお知らせ](#)
[話題の広場](#)
[雑談の広場](#)

閲覧履歴(過去)
ありません

ユーザーホーム
ようこそ！ 一般ユーザー の ハナコ さん

ユーザー情報

- ログイン情報の「[編集](#)」
- ユーザー詳細情報の「[閲覧](#)」「[編集](#)」
- 公開用自己紹介ページの「[閲覧](#)」

新しいユニットの登録
以下の手順で、新規ユニットを登録・公開します。

- 新規ユニットの登録・・・「[ユニット作成](#)」
単元名などを入力して、ユニットを作成します。
- ユニットに詳細情報を入力
紙で「ユニット編集」により、ファイル（生徒作品やテンプレート等）をアップロードしたり、詳細情報を編集したりします。
- 他のユーザーに公開
「[ユニット一覧](#)」で、「公開」に設定してください。特に設定していない場合は、原則非公開となっています。

「逆向き設計」テンプレートファイル

- ダウンロード：[ワークシート（パフォーマンス課題づくり）](#) | [單元設計テンプレート①（word）](#) | [單元設計テンプレート②（word）](#) | [單元設計テンプレート③（一太郎）](#)

自分の登録データ

- 「[ユニット一覧](#)」・・・ユニット（単元等）の閲覧
- 「[ファイル一覧](#)」・・・ファイル（各種画像・Word・Excelファイルなど）の閲覧
- 「[マトリクス一覧](#)」・・・マトリクス（ユニットやファイルなどを表形式にまとめたもの）の閲覧

他の会員の登録データ

- 「[公開ユニット検索](#)」・・・公開されているユニットを検索
- 「[公開マトリクス検索](#)」・・・公開されているマトリクスを検索

メール配信希望している掲示板・話題

- 掲示板「皆様へのお知らせ」： 会員全員に配信されます

(C)京都市立大学大学院教育学研究科 E.FORUM Online 2012

2-1. ログイン情報を編集する

ユーザーホーム
ようこそ！ 一般ユーザー の ハナコ さん

ユーザー情報

- ログイン情報の「**編集**」
- ユーザー詳細情報の「[閲覧](#)」「[編集](#)」
- 公開用自己紹介ページの「[閲覧](#)」

【手順4】

ユーザー情報の上段
ログイン情報の「編集」をクリックします。

ログイン情報の編集

— ユーザーの種類 —
☒ 一般ユーザー

— Email (ログイン時に使用します) —
 Email Address: e-forum@mail2.adm.kyo
 同じものを: e-forum@mail2.adm.kyo

— ペンネーム・姓名 (ペンネームが空欄ならば、姓名を表示します) —
 ペンネーム: Hana
 姓名: 京大 花子
 姓名 (カタカナ): キョウダイ ハナコ

— パスワード —
 パスワード: *****
 同じものを:

【手順5】

入会申込の際にご登録いただいた内容と事務局よりお送りしたパスワードが反映されています。すべて変更することができます。

① ログイン時のメールアドレスを変更できます。

② ペンネームを設定できます。この欄を空白にすると姓名表示が基本となります。

③ パスワードを変更できます。

④ **更新**ボタンをクリックします。

2-2. ユーザー詳細情報を編集する

ユーザーホーム

ようこそ！ 一般ユーザー の ハナコ さん

ユーザー情報

- ログイン情報の「[編集](#)」
- ユーザー詳細情報の「[閲覧](#)」 「[編集](#)」
- 公開用自己紹介ページの「[閲覧](#)」

【手順6】

ユーザーホームに戻って、**ユーザー詳細情報の「編集」**をクリックします。

ユーザー詳細情報の編集

自己紹介など

※この項目は自己紹介ページに反映され、他ユーザーが参照できます。

自己紹介

ようしくお話しします。

①

②

検索 (研究) 教科: 「社会・地理・公民」 | 「生活」 | 「その他の教科」

キーワード: 「世界地理」 | 「日本地理」 | 「世界史」 | 「政治」 | 「経済」 | 「倫理」

教科・科目等: 「歴史」 | 「公民」 | 「生活」

学校種別: 「大学(教員)」

【手順7】

入会申込の際にご登録いただいた内容が反映されています。すべて変更することができます。

《個人情報の編集 上段》

① 自己紹介に入力された本文は、**すべてのユーザーから閲覧可能**となります。

② 指導(研究)教科、学校種別は、**すべてのユーザーから閲覧可能**となります。自由・複数選択が可能です。教科科目等、キーワードもご記入頂くと登録データを検索する際に便利です。ですのでご登録ください。

左側の枠内でクリックしたものが右側に移動します。取り消す場合は、移動してきたものを再度クリックすると左側へ戻ります。

勤務先の詳しい情報や連絡先など

※この項目は、ユーザー本人とE.FORUM事務局の者しか参照できません。

勤務先名 ③

職名

勤続年数 年 (2021 6月 24 現在)

連絡先住所

※この項目は、ユーザー本人とE.FORUM事務局の者しか参照できません。

連絡先 ☒ 職場 ☐ 自宅 ④

郵便番号

都道府県・市町村番地

マンション名等

tel

fax

⑤

[ホームへ戻る](#) ⑥

《個人情報の編集 下段》

入会申込の際にご登録いただいた内容が反映されています。すべて変更することができます。

③ 勤務先や職名、勤続年数を変更できます。異動された際には速やかにご変更をお願い致します。

④ 連絡先(職場・自宅)、郵便番号、住所、電話番号、FAX 番号などが変更できます。

⑤ すべての項目を入力したあと、**更新する**ボタンをクリックしますと、入力した全項目を確認する画面が表示されます。

⑥ 「[ホームへ戻る](#)」で、ユーザーホームに戻ります。

赤枠内の情報は他のユーザーには公開されません。

2-3. 自己紹介ページを閲覧する

ユーザーホーム

ようこそ！ 一般ユーザー の ハナコ さん

ユーザー情報

- ログイン情報の「[編集](#)」
- ユーザー詳細情報の「[閲覧](#)」[編集](#)
- 公開用自己紹介ページの「[閲覧](#)」

ハナコ さんの情報

ユーザーのプロフィール

名前またはペンネーム：
ハナコ

自己紹介：
よろしくお願いたします。
指導（研究）教科：
・ その他の教科

学校種別：
・ 大学（教員）

ユーザーの活動

公開しているユニット（総件数：0）

※	ユニット名	セミナー	プロフィール	教員・科目	指導学級	キーワード	操作

公開しているマトリクス（総件数：0）

※	名称	文法（読）	操作

[このページに戻る](#)

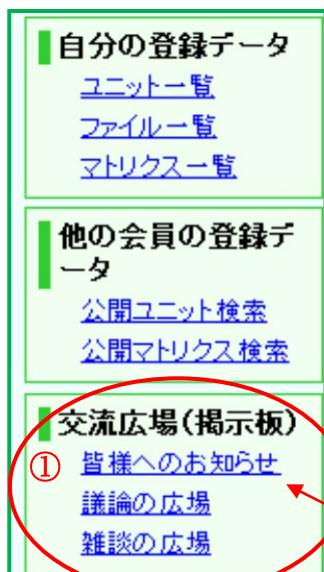
【手順8】

公開用自己紹介ページの「**閲覧**」をクリックすると、公開用の自己紹介文を確認できます。

3. 掲示板を利用する

3-1. 皆様へのお知らせを閲覧する

ユーザーホーム画面の左側メニュー欄



E.FORUM Online (EFO) の掲示板機能を「交流広場」と呼びます。

・**皆様へのお知らせ** ... 管理者のみが書き込めるものです。

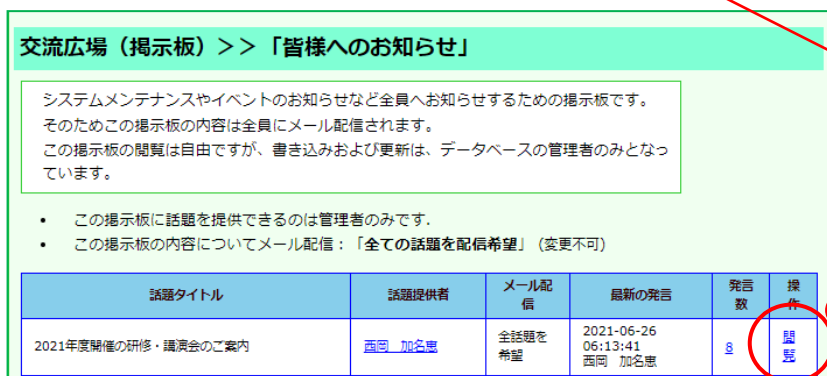
書き込み内容は、会員の皆様へメールとして自動配信されます。この機能を「**メール配信**」と呼んでいます。

・**議論の広場** ... 会員の皆様が自由に書き込めるものです。

会員様同士で E.FORUM 研修の内容、公開ユニットやマトリクスなどについてご自由に意見を交換し議論を深めていただく場です。お勧めの本やイベントの情報もご提供ください。

・**雑談の広場** ... 会員の皆様が自由に書き込めるものです。

会員様同士の交流のために、自由にお使いください。お気軽に雑談どうぞ。

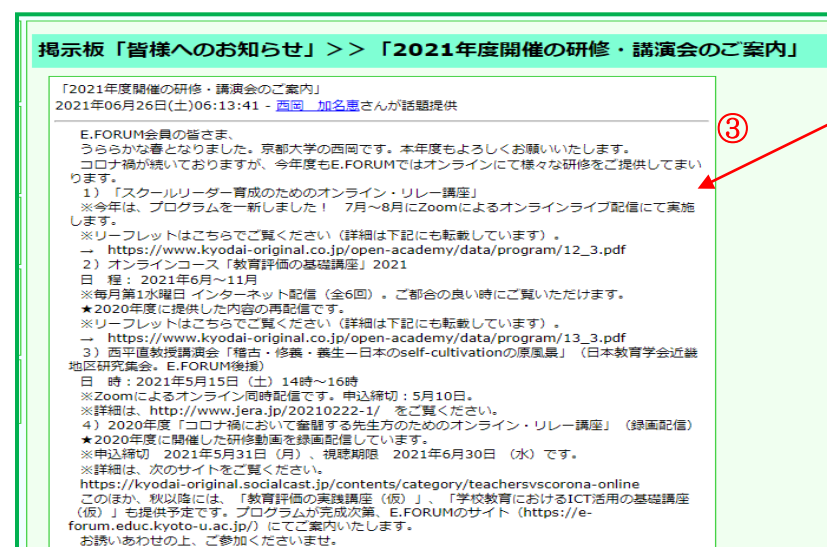


【手順9】

①「**皆様へのお知らせ**」

をクリックします。

②操作欄の「**閲覧**」をクリックします。



③この内容は会員の皆様全員に自動配信されるメールと同じ内容となっております。

3-2. 議論の広場を利用する

【手順10】

交流広場(掲示板)

皆様へのお知らせ

①議論の広揚

雑誌の広場

① 「議論の広場」をクリックします。

こちらの掲示板は会員の皆様が自由に発言いただけます。

交流広場（掲示板）>>「議論の広場」

研修内容に関する検討や意見交換、お勧めのイベントや本の情報提供、データベースの使い方に関するご質問は、こちらにお寄せください。（より多くの方にメール配信が届くよう、新規の話題はなるべく立ち上げず、関連する話題がある場合はそちらに書き込む形で発言していただければ幸いです。）

なお、【プロジェクトS】は、共同研究開発プロジェクトとして取り組んでいる、「E.FORUMスタンダード（試案）」作りの取り組みを指しています。これまでのプロジェクトの経緯については、話題「【プロジェクトS】スタンダード作り」をご覧ください。

- [新しい話題を提供](#)
- この掲示板の内容についてメール配信：「[話題ごとに選択](#)」（変更）

話題タイトル	話題提供者	メール配信	最新の発言	発言数	操作
「教育評価の基礎講座2020/2021」	西岡 加名恵	希望しない (変更)	2021-06-18 14:10:00 西岡 加名恵	2	閲覧

② 操作欄の「**閲覧**」をクリックすると左のように話題内容が表示されます。

③ この話題に対して何かコメントなさる場合は、「**この話題に発言・返信**」をクリックします。すると、「新しく発言する」画面が表示されます。

④ コメントを書き込み、**発言する** ボタンをクリックします。すると、一覧画面に戻り、今書き込みされたコメントが下段に続けて表示されます。(次頁)

掲示板「議論の広場」>>「教育評価の基礎講座2020/2021」

「教育評価の基礎講座2020/2021」

2021年06月26日(土)16:40:58 - 西岡 加名恵さんが話題提供

「E.FORUM Online」に「教育評価の基礎講座2020/2021」に関する質疑や議論のための「話題」を設定しています。受講者の皆さまの交流などに活用ください。

③ この話題に発言・返信

新しく発言する

発言の中で、「unit1」「file10」「matrix9」「user800」のように半角英数字で書き込むと、対応するユニットなどを閲覧できるリンクが貼ることができます。

また、書き込む際は、数行ごとに1行アキを入れていただくと、読みやすい書き込みになりますのでご検討下さい。

Re: 「教育評価の基礎講座2020/2021」

[illegible]

→「E.FORUM Online」に「教育評価の基礎講座2020/2021」に関する質疑や議論のための「話題」を設定しています。受講者の皆さまの交流などにご活用ください。

④ 発言する

[前のページに戻る](#)

基本的に「返信」形式ですので、最初は元の本文がすべて現れます。必要
なければ本文を消してからコメントを書き込むようお願いいたします。

切り取り・コピー・ペーストは、右クリックを使わず、(画面に表示されますが、使用すると「できません」との表示が出ます)

- ・ 切り取り = 「**Ctrl**」 + 「**X**」
- ・ コピー = 「**Ctrl**」 + 「**C**」
- ・ ペースト = 「**Ctrl**」 + 「**V**」 をご使用ください。

↓この話題に発言・返信したあとの閲覧画面↓

掲示板「議論の広場」>>「教育評価の基礎講座」2020/2021

「教育評価の基礎講座」2020/2021
2021年07月06日(火)14:19:36 - 西岡 加名恵さんが話題提供

「E.FORUM Online」に「教育評価の基礎講座2020/2021」に関する質疑や議論のための「話題」を設定しています。受講者の皆さまの交流などにご活用ください。

[この話題に発言・返信](#)

[この掲示板の話題一覧に戻る](#)

Re:「教育評価の基礎講座2020/2021」
2021年06月29日(火)13:03:12 - ハナコさんが発言

「E.FORUM」の研修会にいつも参加させていただいております。
引き続き宜しくお願い致します。

[親発言に飛ぶ](#) [この発言に返信](#) [編集](#) [削除](#)

- ⑤ 返信内容に対してさらに返信する場合は、「この発言に返信」をクリックします。
- ⑥ 親発言に返信する場合は、上段の「この話題に発言・返信」をクリックします。
- ⑦ また、内容を変更したい場合は「編集」、内容を削除したい場合は「削除」をクリックしてください。

《掲示板の「メール配信」機能について》

【機能概要】

E.FORUM Online ログイン時のメールアドレス宛に、掲示板で24時間以内に書き込まれた本文が自動配信される機能を「メール配信」と呼びます。なお、自動配信時刻はアクセス数が極めて少なく円滑にサーバー処理できる時間帯として、夜中の12時過ぎとさせていただきます。

【配信機能のON/OFF 切り替え】

「議論の広場」および「雑談の広場」では、それぞれ話題ごとに配信を「希望する」、「希望しない」を選択できる操作項目を備えております。「希望する」と表示された話題で新たに書き込みがあれば、夜中の12時過ぎにその本文がEメールとして配信されます。

※掲示板「皆様へのお知らせ」につきましては、管理者から皆様へ重要なお知らせをおこなうためのものであり、こちらは強制的な配信となりますことをご了承ください。

• [新しい話題を提供](#)

• この掲示板の内容についてメール配信:「話題ごとに選択」([変更](#))

一括で変更することも可能です。

話題タイトル	話題提供者	メール配信	最新の発言	発言数	操作
「教育評価の基礎講座」2020/2021	西岡 加名恵	希望しない (変更)	2021-07-06 14:25:15 ハナコ	8	閲覧

すでに類似の話題が提供されている場合は、新規に話題を立てず、その話題を閲覧した上で、「この話題に発言・返信」する形での書き込みをお願いいたします。

「変更」をクリックすると切り替わります。

3-3. 雑談の広場を利用する

【手順11】

① 「雑談の広場」をクリックします。

こちらの掲示板は会員の皆様が自由に発言いただけます。

交流広場(掲示板)
皆様へのお知らせ
議論の広場
①雑談の広場

交流広場（掲示板） >> 「雑談の広場」

会員同士の交流のために、自由にお使いください。雑談もお気軽にどうぞ。

② **新しい話題を提供**

- この掲示板の内容についてメール配信：「**話題ごとに選択**」（変更）

話題タイトル	話題提供者	メール配信	最新の発言	発言数	操作
わたしの時事ネタ情報源	百万遍	希望しない (変更)	2021-06-18 14:09:57 百万遍	3	閲覧

※閲覧および発言・返信の操作方法は「議論の広場」と全く同じです。

[illegible]

Topic was successfully created.

掲示板「雑談の広場」>>「テスト」

「テスト」
2021年07月20日(火)11:14:07 - [バコ](#)さんが話題提供

こんにちは

⑦
[この話題に返信・返信 | 返信](#)

⑧
[この掲示板の話題一覧に戻る](#)

- ② 「**新しい話題を提供**」をクリックします。
- ③ 話題タイトルを入力します。
- ④ 話題内容を入力します。
- ⑤ **ファイル**を添付することができます。
- ⑥ **登録する**ボタンをクリックすると、提供した話題が確認できます。
- ⑦ この時点でも返信・編集が出来ます。
- ⑧ 「**この掲示板の話題一覧に戻る**」をクリックすると一覧画面の最上段に話題が立ち上がります。
- ⑨ 立ち上げた話題の内容を編集するには、操作欄から「**編集**」を、話題そのものを削除するには「**削除**」をクリックします。

「削除」を選択すると、話題内の発言・返信すべてが消える点にご注意ください。

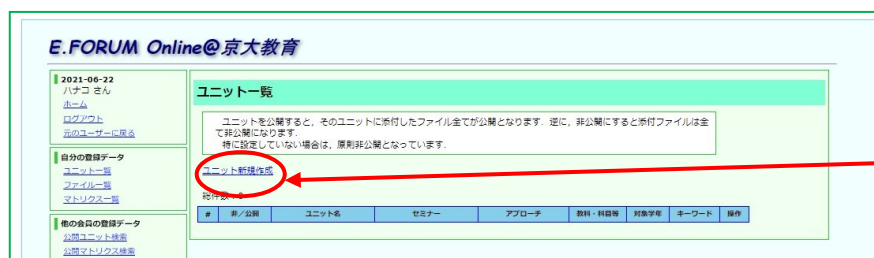
話題タイトル	話題提供者	メール配信	最新の発言	発言数	操作
テスト	ハナコ	希望しない (変更)	2021-07-20 11:14:07 発言はありません	0	閲覧 / 編集 / 削除

《重要な注意点》

すでに類似の話題が提供されている場合は、新規に話題を立てず、その話題を閲覧した上で、「この話題に発言・返信」する形で書き込みをお願いいたします。そうしていただけると、その書き込みは、該当の話題に関心をお持ちの（つまり、あらかじめ「メール配信」を「希望する」に設定した）会員の皆様宛にメールとして配信されます。「新しい話題を提供」から新規で書き込みをなさる場合、初期設定で「メール配信」は「希望しない」となっていますことをご留意ください。

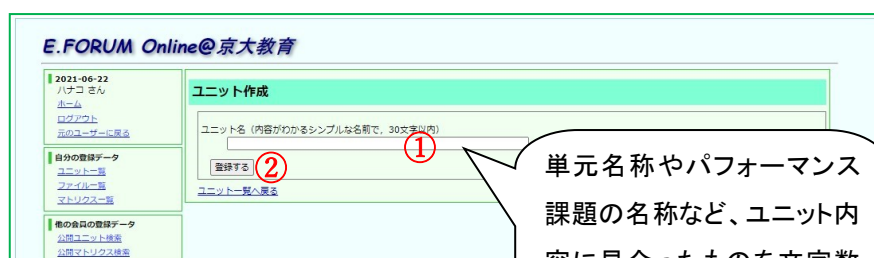
4. 新しいユニットを登録する

4-1. ユニットの基本情報を入力する



【手順12】

「自分の登録データ」から「ユニット一覧」を開き「**ユニット新規作成**」をクリックします。



① 単元名称やパフォーマンス課題の名称など、ユニット内容に見合ったものを文字数30字以内で記述します。

【手順13】

《ユニット作成》

- ① ユニット名を入力します。
- ② **登録する**ボタンをクリックします。



《ユニット基本情報》

- ③ 続いて、「ユニット詳細情報」を入力する作業へ移ります。「**ユニット編集**」をクリックして、ユニットの基礎情報を編集します。

「逆向き設計」テンプレートファイル

- ・ダウンロード: [ワークシート \(パフォーマンス課題づくり\)](#) | [単元設計テンプレート① \(word\)](#) | [単元設計テンプレート② \(word\)](#) | [単元設計テンプレート③ \(一太郎\)](#)

ユーザーホーム画面中央にある「逆向き設計」テンプレートファイルより、あらかじめ必要なテンプレートをダウンロードしてください。
テンプレート内で単元情報やパフォーマンス課題の詳細や対応するルーブリックの入力をお済ませください。

《アプローチの略称について》

PBL: Problem Based Learning の略。「問題(課題)基盤型学習」のこと。

UbD: Understanding by Design の略。「理解をもたらすカリキュラム設計(逆向き設計)」のこと。

《ユニット編集》

エレメントの「簡単な概要」を入力します。こちらは必須入力項目です。

- ④ 「**エレメントを追加**」をクリックすると、このユニットに関連するデータ(単元テンプレート文書、パフォーマンス課題の生徒作品画像、Excel データ、その他画像データなど)をアップロードできるようになります。
- ⑤ **コメント**—ユニット全体の説明をします。
- ⑥ **教科書**—単元に関する教科書を記述します。
- ⑦ **参考文献**—参考文献を記述します。
- ⑥⑦ 共にユニットやファイルであればリンクがはれます。

4-2. エレメント追加を入力する

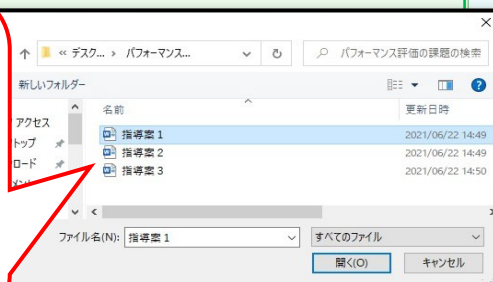
《重要》
ファイルの形式は、汎用的なものを使用。
・ 文 書 ファ イ ル
⇒ .doc .docx .pdf .jtd
・ 画 像 ファ イ ル
⇒ .jpg .png .bmp など
・ 表 計 算 ファ イ ル
⇒ .xls .xlsx など

【手順14】

エレメント追加をクリックして、お手持ちのデータを追加します。

- ① ファイルの説明をします。
- ② **ファイル選択**をクリックしてファイルを呼び込みます。

*ファイル選択画面で、**Shift**キーを押しながら、指導案1～3をクリックすると複数選択された状態になります。
その後、**開く**ボタンを押せば、複数ファイルが設定できます。(1 回あたり 20MB まで複数 UP 可能です)



4-3. 入力ヘルパーの使い方

ファイルについてのコメントや説明 ③

入力ヘルパー（公開中の項目のみ表示）

タイトルをつける ☒ ④

評価

file61: 教員研修 パフォーマンス
file107: 資料4－模擬授業評価
file111: 資料6－知の構造と評
file129: 資料1－知の構造と評
file132: 資料4－模擬授業評価
file264: CDDDB単元ID282 学
file283: 小学校5年理科「生命」

file61(教員研修 パフ コピー

タイトルをつける ☐

評価

file61: 教員研修 パフォーマンス
file107: 資料4－模擬授業評価
file111: 資料6－知の構造と評
file129: 資料1－知の構造と評
file132: 資料4－模擬授業評価
file264: CDDDB単元ID282 学
file283: 小学校5年理科「生命」

file61 コピー

⑤

file61(教員研修 パフォーマンス評価
「逆引き設計」テンプレート.doc)

- ③ すでに公開中のファイルを追加したい場合は**入力ヘルパー**を使うと簡単に公開中の file が検索・コピー・ペーストできます。
- ④ 検索キーワードを入れて「タイトルをつける」にチェックを入れると、file 名とタイトルをコピーする事ができます。チェックを入れないと file 名のみコピーされます。
- ⑤ **コピー**すると**コピーしました**と出ますので、下の枠にペーストすれば完成です。

4-4. 詳細情報を入力する

コメント

中学生の数学におけるパフォーマンス評価を過去の教員研修を基に指導案から考えてみました。

教科書

①

参考文献

file343(【a】 概要 (中学校数学) .pdf)
file344(【b】 問い (中学校数学) .pdf)

詳細情報の編集

以下の項目は必須入力です。他ユーザーに公開したときに検索に用います。
(複数選択可能、クリックして右側に移動で選択)

② セミナー アプローチ 教科・科目等 対象学年 **キーワード**

話し言葉
文学
説明的文章
古典
言語事項・文法
世界地理
日本地理
世界史

関数
図形・幾何
確率・統計

セミナー: 「2021教育評価の実践講座」

③ アプローチ: 「逆引き設計(UbD)」 | 「パフォーマンス課題」

教科・科目等: 「算数」 | 「数学」

対象学年: 「中学校: 第1学年」 | 「中学校: 第2学年」 | 「中学校: 第3学年」

キーワード: 「関数」 | 「図形・幾何」 | 「確率・統計」

更新する ④

閲覧 | ユニット一覧へ戻る

【手順15】《重要》

- ① **コメント・教科書・参考文献**も記載してください。
- ※公開中の file を使用する場合はリンクがはれます。
- ② 項目は、いずれも公開ユニットの検索条件として利用できるものになります。特に「キーワード」欄を多く選択すれば、キーワード条件検索においてヒットしやすくなります。
- * 複数選択が可能です。クリックしたものだけ右側に移動します。選択から外す場合は、右の欄の項目をクリックすれば左に戻ります。
- ③ 選択した項目は、全で一覧で確認できます。
- ④ すべての項目を選択したあと、**更新する**または**「閲覧」**でユニットの基本情報に戻れます。

↓ 更新後のユニット基本情報の表示 ↓

Successfully updated unit.

ユニットの閲覧(unit470)

ユニット基本情報

以下の項目は、検索に用いられます

ユニット名
パフォーマンス評価

作成者	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード
① ハナコ	2021教育評価の実践講座	逆向き設計(UbD) / パフォーマンス課題	算数 / 数学	中1 / 中2 / 中3	関数 / 図形・幾何 / 確率・統計

ユニット詳細情報

エレメント (1個)

「中学生の数学におけるパフォーマンス評価」

- file1041: [指導案 1.docx](#)
- file1042: [指導案 2.docx](#) ②
- file1043: [指導案 3.docx](#)

[file61](#)(教員研修 パフォーマンス評価 「逆向き設計」テンプレート.doc)

コメント

中学生の数学におけるパフォーマンス評価を過去の教員研修を基に指導案から考えてみました。

教科書

未入力 ③

参考文献

[file343](#)(【a】 概要 (中学校数学) .pdf) [file344](#)(【b】 問い (中学校数学) .pdf)

[編集](#) | [削除](#) | [ユニット一覧](#)

【手順16】《重要》

ユニット基本情報の画面では編集後のユニットが表示されます。

公開ユニット検索で閲覧された時も同じ表示になります。

- ① 作成者をクリックすると、ユーザーのプロフィールを表示します。
- ② fileをクリックするとダウンロードすることができます。
- ③ 教科書・参考文献に関しても、公開されているfileを使用した場合は、ダウンロードすることができます。

↓ 自分の登録データ ユニット一覧の画面 ↓

ユニット一覧

ユニットを公開すると、そのユニットに添付したファイル全てが公開となります。逆に、非公開にすると添付ファイルは全て非公開になります。特に設定していない場合は、原則非公開となっています。

[ユニット新規作成](#)

総件数: 1

#	非/公開	ユニット名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
unit470	④ 非公開 (変更)	パフォーマンス評価	2021教育評価の実践講座	逆向き設計(UbD) / パフォーマンス課題	算数 / 数学	中1 / 中2 / 中3	関数 / 図形・幾何 / 確率・統計	⑤ 閲覧 編集 削除

385件

unit	作成者	ユニット名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
470	ハナコ	パフォーマンス評価	2021教育評価の実践講座	逆向き設計(UbD) / パフォーマンス課題	算数 / 数学	中1 / 中2 / 中3	関数 / 図形・幾何 / 確率・統計	閲覧
472	にしおか かなえ	日本の工業について提案しよう!	2021教育評価の実践講座	逆向き設計(UbD) / パフォーマンス課題	社会	小5	日本地理	閲覧
26	西岡 加 名恵	逆向き設計(UbD) テンプレート		逆向き設計(UbD)	教育	その他	教育方法	閲覧

公開にすると、「公開ユニット検索」のTOPに掲載されます。

ユニット一覧画面では登録済みの自分のユニットが表示されます。

《重要》

「非公開」とはそのユニットが非公開状態であることを示しています。(他のユーザーは閲覧できません)

- ④ 公開したいユニットの「非公開」欄にある(変更)をクリックすると「公開」になります。(他のユーザーが閲覧自由になります)

- ⑤ ここから「閲覧・編集・削除」も可能です。

《重要》

「公開」にすると、ユニット内でアップロードしたデータ類は一括して公開状態になります。

5. アップロードしたファイルを確認する

自分の登録データからファイルを確認

【手順17】

ユーザーホームの左側のメニュー欄 もしくは、
画面中央の「自分の登録データ」から「**ファイル一覧**」をクリックします。

2021-07-30
ハナコ さん
[ホーム](#)
[ログアウト](#)

自分の登録データ
[ユニット一覧](#)
[ファイル一覧](#)
[マトリクス一覧](#)

自分の登録データ

- ・ [「ユニット一覧」](#)・・・ユニット（単元等）の閲覧
- ・ [「ファイル一覧」](#)・・・ファイル（各種画像・Word・Excelファイルなど）の閲覧
- ・ [「マトリクス一覧」](#)・・・マトリクス（ユニットやファイルなどを表形式にまとめたもの）の閲覧

アップロードしたファイル一覧

ファイルの公開・非公開の設定は、ユニット側で行います。「被参照」で表示されているユニットで設定を行ってください。
ファイル名、topicのid、unitのidで検索できます。

ファイルタグ検索

総件数：3

#	公開／非公開	ファイル名	タイプ	サイズ	被参照	① 操作
file1041	非公開	file1041: 指導案 1.docx	Word文書(.docx)	0 Bytes	unit470	リンクコピー 削除
file1042	非公開	file1042: 指導案 2.docx	Word文書(.docx)	0 Bytes	unit470	リンクコピー / 削除 ②
file1043	非公開	file1043: 指導案 3.docx	Word文書(.docx)	0 Bytes	unit470	リンクコピー / 削除

《重要》

「ファイル一覧」では、自分のユニット内でエレメントとしてアップロードしたファイルが表示されます。
ファイルの公開・非公開の設定はユニットで行います。ユニットを「公開」状態にすると、
そのユニット内でアップデートされたエレメント類はすべて自動的に「公開」状態となります。

【手順18】

① 「リンクコピー」でファイルをダウンロードすることができます。

② 「削除」でファイルを削除することができます。

《ご注意ください》

一度削除したデータは復旧できません。本当に削除しても良いデータかどうかを判断するために、
このファイルがどのユニットに属するものなのかを再度確認することをおすすめします。

「操作」欄の左隣「被参照」欄に表示してあるユニット番号が、このファイルの属するユニットです。
こちらをクリックすると、ユニットの基本情報と詳細情報を閲覧することができます

6. マトリクスを登録する

6-1. マトリクスの基本情報を入力する

【手順19】

「自分の登録データ」から「マトリクス一覧」を開き「**マトリクス新規作成**」をクリックします。

【手順20】

《マトリクス新規作成》

- ① マトリクス名を入力します。
- ② マトリクスのサイズを決めます。(後で変更も可能です)
- ③ **登録する**ボタンをクリックします。

《マトリクスとは何か》

マトリクスとは、登録済み(公開に設定済み)の複数のデータを一つの表にまとめて「**構造化**」するためのツールです。例えば、以下のような利用方法が考えられます。

- ・お気に入りリスト(特定の教科のユニット、テンプレート文書ファイルなど)
- ・お薦め実践事例集
- ・長期的ルーブリック
- ・冊子や報告書の目次

【手順21】

- ① 「**マトリクス編集**」をクリックして編集を行います。「**編集**」でも同じページに移行します。この時点で「**削除**」することもできます。
- ② 「**マトリクス一覧へ戻る**」で一覧へ戻ることもできます。編集途中のマトリクスはそのまま保存されます。

6-2. マトリクスを編集する

マトリクスの編集

基本情報の編集

マトリクス名 (公開されているシナプスの名前です。30文字以内)
 ①

マトリクスの編集

※「UnitID」「MatrixID」「FileID」のように記述すると、それらの更新することが出来るリンクを貼ることが出来ます。
 ただし、これらの文字列は全て半角英数字でなくてはなりません。

マトリクス - サイズ (横:縦) = 5:4
 サイズ (横:縦) = マトリクスにデータが入る場合、そのセルは必ずこのサイズでなければなりません。
 : ②

入力ヘルパー (公開されているシナプスの名前) ④

	エネルギ	生命	地球
中一		file273(CODB単位ID348: 生命の誕生って? .doc)	file825(2013 0919 地球・生命・わたし.doc)
中二		file282(生命の連鎖性について .jpg)	
中三	file196(CODB単位ID153: 粒子の熱運動、組み合わせた演習.doc)		file517(CODB単位ID380: 地球環境問題、組み合わせた演習.doc)

コメント
 ⑤

教科書
 ⑤

参考文献
 ⑤

詳細情報の編集

以下の詳細情報を記入して下さい。各ユーザーに公開したときに検索に利用します。
 (詳細情報の入力、クリックして右側に移動して選択)

公開権限: 公開権限を選択
 ⑥

公開権限: (公開権限)
 公開権限: (中学校・公立学校) | (中学校・私立学校) | (中学校・私立学校)
 キーワード: (物理) | (化学) | (生物) | (地理) | (歴史) ⑦

更新する ⑦

【手順22】

《マトリクスの編集》

- ① ここでマトリクス名が変更できます。
- ② ここでマトリクスのサイズの変更ができます。
- ③ マトリクスの中を編集します。
- ④ **入力ヘルパー**を使って公開中のユニット、マトリクス、ファイルを貼ることもできます。(※新しいユニットを編集する参照)
- ⑤ コメント、教科書、参考文献を記載します。
- ⑥ 詳細情報を編集します。
- ⑦ **更新する**または「**閲覧**」でマトリクス基本情報に戻れます。

↓更新後のマトリクス基本情報の表示↓

マトリクス基本情報

以下の基本情報は検索に利用します。

マトリクス名
 理科における包括的な「本質的な問い」

作成者	設定者	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード
11470			理科	中1 / 中2 / 中3	物理 / 化学 / 生物 / 地理

マトリクス詳細情報

以下の詳細情報を編集するためには、[マトリクス編集](#) をクリックしてください。

マトリクス
 サイズ (横:縦) = 5:4

エネルギ	生命	地球
中一	file273(CODB単位ID348: 生命の誕生って? .doc)	file825(2013 0919 地球・生命・わたし.doc)
中二	file282(生命の連鎖性について .jpg)	
中三	file196(CODB単位ID153: 粒子の熱運動、組み合わせた演習.doc)	file517(CODB単位ID380: 地球環境問題、組み合わせた演習.doc)

コメント
 ○ 自分たちが身の回りで発見したり、経験したりする自然の事象や現象はどのような仕組みになっているだろうか。
 ○ 身の回りの事象や現象はどのように探究していくことができるだろうか。

教科書
 未入力

参考文献
[unit300\(CODB 中学校理科\)](#) ③

編集 | 削除 | マトリクス一覧へ戻る

【手順23】《重要》

マトリクス基本情報の画面では編集後のマトリクスが表示されます。公開マトリクス検索で閲覧された時も同じ表示になります。

- ① 作成者をクリックすると、ユーザーのプロフィールを表示します。
- ② file をクリックするとダウンロードする事ができます。
- ③ 教科書・参考文献に関しても、公開されている file を使用した場合は、ダウンロードする事ができます。

↓ 自分の登録データ マトリクス一覧の画面 ↓

マトリクスの一覧

マトリクスの作成は、(1)「マトリクスの新規作成」で基本情報（検索用のキーワードや表の縦横のサイズなど）を入力し、(2)その後「マトリクス編集」で具体的な情報を入力します。
また、作成時点では他の会員には非公開となっていますので、以下の一覧で、「公開」に変更してください。

[マトリクスの新規作成](#)

総件数：1

# (横：縦)	非／公開	マトリクス名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
matrix45 (5:4)	④ 非公開 (変更)	理科における包括的な「本質的な問い」			理科	中1 / 中2 / 中3	物理 / 化学 / 生物 / 地学 / 自然	⑤ 閲覧 編集 削除

↓ 自分のマトリクスを公開した場合の公開マトリクス検索の画面 ↓

公開マトリクスの検索

マトリクス番号を指定して探す

• matrix

検索条件を組み合わせて探す

• コンテンツ検索:

• セミナー:

• アプローチ:

• 教科・科目等:

• 対象学年:

幼稚園: 年少 ☐ | 年中 ☐ | 年長 ☐

小学校: 第1学年 ☐ | 第2学年 ☐ | 第3学年 ☐ | 第4学年 ☐ | 第5学年 ☐ | 第6学年 ☐

中学校: 第1学年 ☐ | 第2学年 ☐ | 第3学年 ☐

高等学校: 第1学年 ☐ | 第2学年 ☐ | 第3学年 ☐

大学: 学部 ☐ | 大学院 ☐

教員 ☐

管理職・主事等 ☐

その他 ☐

• キーワード:

• 表示の並び順: ☒ 更新日 (新しい順) ☐ ユニットID (降順) ☐ ユニットID (昇順) ☐ 作成者順

• 一度に表示する件数: 件

総件数：9

matrix	作成者	マトリクス名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
45	ハナコ	理科における包括的な「本質的な問い」			理科	中1 / 中2 / 中3	物理 / 化学 / 生物 / 地学 / 自然	閲覧
43	西園 加名 恵	お気に入り事例集 (中学校社会科) - 作成中です		逆向き設計 (UbD) / パフォーマンス課題	社会	中1 / 中2 / 中3		閲覧

マトリクス一覧画面では登録済みの自分のマトリクスが表示されます。

《重要》

「非公開」とはそのマトリクスが非公開状態であることを示しています。

④ 公開したいユニットの「非公開」欄にある(変更)をクリックすると「公開」になります。

⑤ ここから「閲覧・編集・削除」も可能です。

《重要》

「公開」にすると、ユニット内でアップロードしたデータ類は一括して公開状態になります。

公開にすると、「公開マトリクス検索」の TOP に掲載されます。

7. 他の会員のデータを検索する

2021-07-30
ハナコ さん
[ホーム](#)
[ログアウト](#)

自分の登録データ
[ユニット一覧](#)
[ファイル一覧](#)
[マトリクス一覧](#)

他の会員の登録データ
[公開ユニット検索](#)
[公開マトリクス検索](#)

【手順24】

ユーザーホーム左側のメニュー欄 もしくは最下段「公開ユニット検索」「公開マトリクス検索」をクリックします。

他の会員の登録データ

- 「公開ユニット検索」・・・公開されているユニットを検索
- 「公開マトリクス検索」・・・公開されているマトリクスを検索

検索できるユニットは、「公開」設定に変更済みのものに限ります。「非公開」では検索されません。

7-1. 公開されているユニットを検索する

公開ユニットの検索

ユニット番号を指定して探す
unit ①

検索条件を組み合わせて探す ②

- コンテンツ検索:
- セミナー:
- アプローチ:
- 教科・科目等:
- 対象学年:
 - 幼稚園: 年少 ☐ 年中 ☐ 年長 ☐
 - 小学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐ 第4学年 ☐ 第5学年 ☐ 第6学年 ☐
 - 中学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐
 - 高等学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐
 - 大学: 学部 ☐ 大学院 ☐
 - 教員 ☐
 - 管理職・主事等 ☐
 - その他 ☐
- キーワード:
- キーワード:
- 表示の並び順: ● 更新日 (新しい順) ○ ユニットID (降順) ○ ユニットID (昇順) ○ 作成者順
- 一度に表示する件数: 20 件

③

384件

unit	作成者	ユニット名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
472	山崎 弘子	日本の工業について授業しよう！	2021教育研修の 実践講座	志向性設計 (USD) / パフォーマンス 課題	社会	小5	日本地理	詳細
26	山崎 弘子	志向性設計 (USD) テンプレート		志向性設計 (USD)	教育	その他	教育方法	詳細

【手順25】

- ① あらかじめユニット番号がわかっている場合は、半角数字を直接入力して呼び出すことができます。
- ② 各種条件を組み合わせて検索できます。
- ③ **検索ボタン**をクリックします。

7-2. 公開されているマトリクスを検索する

公開マトリクスの検索

マトリクス番号を指定して探す
matrix ①

検索条件を組み合わせて探す ②

- コンテンツ検索:
- セミナー:
- アプローチ:
- 教科・科目等:
- 対象学年:
 - 幼稚園: 年少 ☐ 年中 ☐ 年長 ☐
 - 小学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐ 第4学年 ☐ 第5学年 ☐ 第6学年 ☐
 - 中学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐
 - 高等学校: 第1学年 ☐ 第2学年 ☐ 第3学年 ☐
 - 大学: 学部 ☐ 大学院 ☐
 - 教員 ☐
 - 管理職・主事等 ☐
 - その他 ☐
- キーワード:
- キーワード:
- 表示の並び順: ● 更新日 (新しい順) ○ ユニットID (降順) ○ ユニットID (昇順) ○ 作成者順
- 一度に表示する件数: 20 件

③

総件数: 8

matrix	作成者	マトリクス名	セミナー	アプローチ	教科・科目等	対象学年	キーワード	操作
43	山崎 弘子	お気に入りの事例集 (中学校社会科) - 作成中です		志向性設計 (USD) / パフォーマンス 課題	社会	中1 / 中2 / 中3		詳細
31	山崎 弘子	【教員研修】		志向性設計 (USD)	教育	幼稚園 / 管理職・主事等 学校運営 / コミュニケーション		詳細

【手順26】

- ① あらかじめマトリクス番号がわかっている場合は、半角数字を直接入力して呼び出すことができます。
- ② 各種条件を組み合わせて検索できます。
- ③ **検索ボタン**をクリックします。